

**「アジア 3 R ハイレベルセミナー」  
及び「持続可能な資源管理に関するアジアセミナー」概要**

## I アジア 3 R ハイレベルセミナー

1. 目的 アジア各国の 3 R 政策担当省庁の部局長級間の討議を通じ、今後各国において 3R の実践を具体的に進めるため、3R 国家戦略の策定等の取組において得た経験・情報、優良取組事例などを共有する。さらに本年夏頃に発足を予定している「アジア 3R 推進フォーラム」に向けて、3R の実践に当たっての課題認識、優先取組分野の共有を図る。

2. 主催者 日本国環境省、(財)地球環境戦略研究機関 (IGES)  
(協力機関：国連地域開発センター (UNCRD)、国連環境計画 (UNEP))

3. 日時 2009 年 3 月 9 日 (月) 9:30-17:30

4. 場所 三田共用会議所 (東京)

### 5. 参加予定者

<アジア各国政府>

- ・バングラデシュ、ベトナム、カンボジア、フィリピン、インドネシア、マレーシア、タイ、(以上、我が国による 3R 国家戦略策定支援国)、中国、韓国、シンガポール、日本

<国際機関・援助機関・有識者>

- ・アジア開発銀行 (ADB)、ドイツ連邦政府技術協力公社 (GTZ)、国連地域開発センター (UNCRD)、国連環境計画 (UNEP)、国連アジア太平洋経済社会委員会 (UNESCAP)、日本貿易振興機構アジア経済研究所 (IDE-JETRO)、(財)地球環境戦略研究機関 (IGES)、(独)国際協力機構 (JICA)、企業からの有識者。

6. 使用言語 英語

### 7. 討議内容

参加のアジア各国が 3R 国家戦略を策定していく中での経験、知見について報告し、情報交換を行う。また、開発援助機関等による 3R に関する能力開発支援の事例、3R がもたらしうる様々な便益に関する知見の共有を図る。さらに、3R 国家戦略の実施に向けた課題と対応策に関する議論を通じて、アジアにおける国際協力のニーズ、アジア 3R 推進フォーラムにおける協力の方向性について認識の共有を図る。

## II 持続可能な資源管理に関するアジアセミナー

### 1. 目的

我が国が主導してきた3Rイニシアティブの一環として、経済発展著しいアジア各国の政策責任者に対し、UNEP「持続可能な資源管理に関する国際パネル」における活動を紹介するとともに、APFEDでの3Rに関する取組成果の発表を行い、科学者、有識者とアジア各国の政策担当者間での意見交換を行う。これを通じて、資源管理、3R、廃棄物対策に関する課題についての共通理解を醸成し、アジアにおける3Rを通じた循環型社会の構築に貢献する。さらにUNEP「持続可能な資源管理に関する国際パネル」に対してアジア各国の政策責任者を伝える機会を提供することにより今後のパネルの活動の推進に寄与する。

2. 主催者 日本国環境省、国連環境計画（UNEP）、アジア太平洋環境開発フォーラム（APFED）

3. 日時 2009年3月10日（火）（非公開専門家会議）9:30-17:30

4. 場所 三田共用会議所（東京）

### 5. 参加予定者（予定）

#### <UNEP パネルメンバー>

- ・エルンスト・ヴァイツゼッカー（共同議長）
- ・ジョージ・ヴァルゲーゼ（印 Development Alternative 総裁）
- ・ジェフ・マクニーリー（国際自然保護連合 主席研究員）
- ・森口祐一（国立環境研究所）
- ・アンナベラ・シリバン=マナラン（比 デラサール大学）

#### <APFED メンバー>

- ・川口順子（元外務大臣/元環境大臣）
- ・シエリト・ハビト（元フィリピン経済社会開発大臣）
- ・浜中裕徳（IGES 理事長）
- ・キム・ミョンジャ（元韓国環境大臣）
- ・エリム・サリム（インドネシア大統領特使）

#### <学界産業界等の有識者>

- ・（独）国立環境研究所、日本貿易振興機構アジア経済研究所（IDE-JETRO）、（独）物質・材料研究機構、（財）地球環境戦略研究機関（IGES）、その他企業からの有識者。

#### <政府>

- ・バングラデシュ、ベトナム、カンボジア、フィリピン、インドネシア、マレーシア、タイ、中国、韓国、シンガポール、日本

#### <国際機関>

- ・アジア開発銀行（ADB）、バーゼル条約地域事務所（中国）（BCRC-China）、欧州委員会（EC）、経済協力開発機構（OECD）、国連地域開発センター（UNCRD）、国連環境計画（UNEP）、国連アジア太平洋経済社会委員会（UNESCAP）

## 6. 使用言語 英語

## 7. 討議内容

「持続可能な発展に向けた経済発展と環境悪化のデカップリング（切り離し）」、「製品と資源の優先順位付け」、「金属資源とリサイクル」、「バイオ燃料等のバイオマス利用強化」が UNEP 資源パネルでの優先テーマとなっていることから、これらテーマに関する検討成果を紹介するとともに、APFED での調査事例や企業の取組も交えた議論を行う。